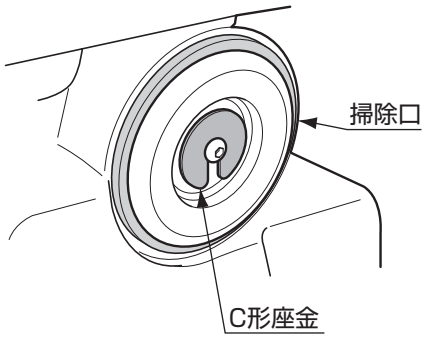
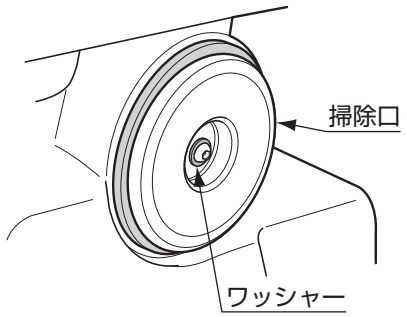
この取扱説明書はお客様用です。
必ずお客様にお渡しください。

便器の掃除口部品が製品によって異なる場合があります。
取扱説明書の内容と掃除口部品の形状が異なる場合は、本紙記載の「掃除口の取り外しおよび取り付け」を参照してください。

〈本紙記載の内容〉



座金が C形 の場合



ワッシャーが 丸形 の場合

ウォシュレットを取り付けられている場合は、いったん取り外してから
掃除口を取り付けると作業がしやすくなります。

掃除口の取り外しおよび取り付け

衛生面から作業前に必ずゴム手袋を着用ください。

＜取り外しかた＞

⚠注意

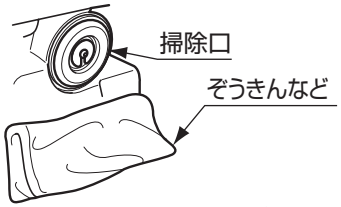
必ず実行

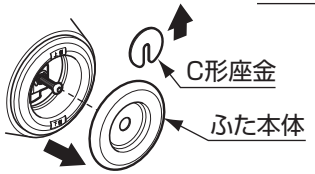
便器に異物が詰まり掃除口のふたを開ける際には、必ず便器内の汚水を抜いてから行う

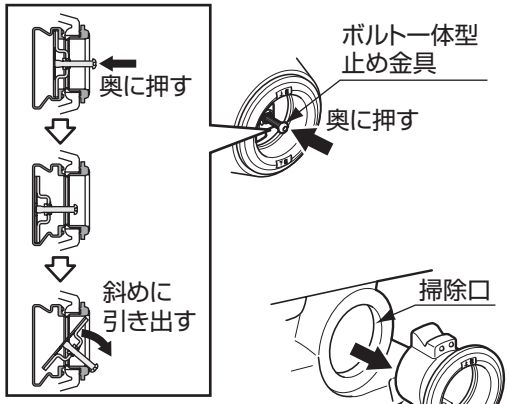
汚水が掃除口部よりあふれ、床を汚すおそれがあります。

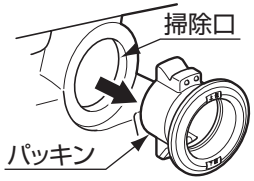
※パッキンを取り外す際は必ず止め金具を取り出してください。
止め金具を取り付けたままパッキンを引き抜くと破損します。
ボルトを緩めるとC形座金が落下します。
C形座金の紛失にご注意ください。

使用工具



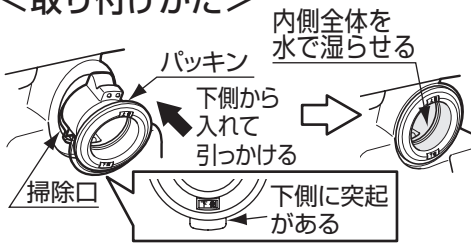




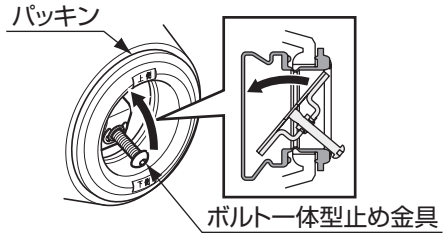


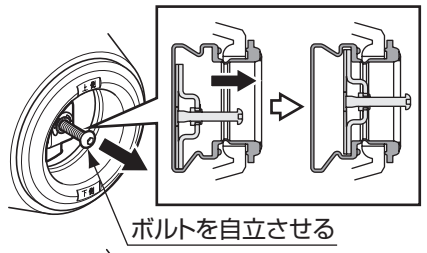
1. 止水栓を閉める。
2. 便器内の汚水を抜き、床を汚さないために、掃除口の下に厚手のぞうきんなどを用意する。
3. 六角穴付きボタンボルトを限界までゆるめる。
   ※ボルトが抜け落ちない構造になっており、途中から回らなくなります。
4. C形座金、ふた本体の順に取り出す。
5. 止め金具を一度、パッキンの奥に押して斜めに引き出す。
   ※止め金具を軽く持ち上げ、奥に押すと外しやすくなります。
6. パッキンを取り外す。
7. 詰まり除去の作業後、取り付けかた（右記）に沿って掃除口ふたを確実に固定する。

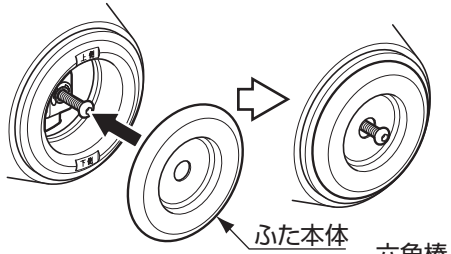
＜取り付けかた＞

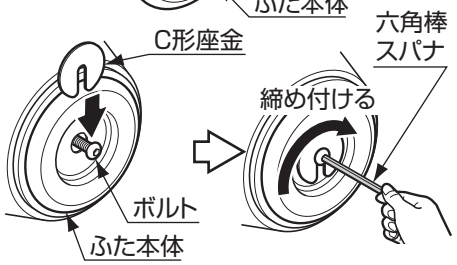


※パッキンの内側全体を水で湿らせると滑りやすくなり、施工が確実に行えます。









1. パッキンを掃除口に取り付ける。

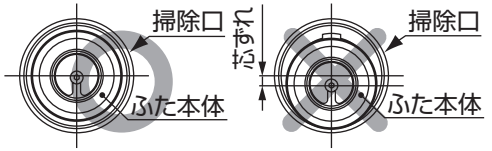
⚠注意

必ず実行

パッキンは必ず上下方向を確認して便器に取り付ける

誤った向きに取り付けると水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

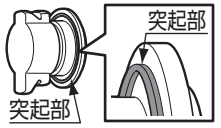
2. ボルト一体型止め金具をパッキン内に挿入する。
3. ボルトを持ち、手前に引くことで止め金具を自立させる。
4. ボルト頭をふた本体の中心穴に通して、ふた本体を取り付ける。
5. C形座金をボルト頭とふた本体の間に入れ、ボルトを締め付ける。
   ※軽くボルトを締めてからC形座金を入れるとC形座金が脱落しにくくなります。
6. ふた本体が確実に固定されているか確認する。
   ※芯ずれがある場合は、もう一度締め直してください。



⚠注意

必ず実行

- **必ずふたを確実に固定したことを確認したうえで、洗浄を行うようにする**
- **必ずパッキンの突起部全周が半分以上つぶれるまで締め付けられているかを確認する**



締め付けが足りない場合は水漏れにより家財に損害を与えるおそれがあります。
万一水漏れする場合には締め増しをしてください。